

## 課程大綱

指導教授：謝豐地正枝

課程名稱：日語會話（二）上・下、日文系必修

### I. 授課對象：

本日語會話（二）課程以修過日語會話（一）的學生為對象設計課程。

### II. 課程目標

1. 學生在修了本課程後，能夠學得日語中基礎的中級文法並正確應用、依照話題或場景能有自信地向聽者用口頭傳達自己的意思或情感以及想法。
2. 對話場景不限於大學內以及家庭內的對話，更包含了社會以及職場上的場景。
3. 學生在修了本課程後能夠正確聽解應用基礎日語中級的文法之口語日語。
4. 為了增強學生口語能力，課程內容以學生為中心組成。除使用教科書以及其教學錄音 CD 外，尚以「新聞報導學日語」之 CD 為副教材增強聽力。

### III. 教學方法

1. 採用溝通式教學法（Communicative Approach）及直接教學法（Direct Teaching Method），以學生活動為重心設計課程，並大約有二分之一以上課程時間在訓練口語能力。
2. 為學得正確發音，給予每位學生教科書之教學錄音 CD。學生可於回家後運用 CD 自學。課程上由教師帶念正確發音，學生隨後練習。接下來由學生個別與 CD 做練習。
3. 接下來每兩位學生組成一組來練習課本內容。在學得規定之會話後，由 3 至 5 人組成團體並設定一個場景相像的情境來編製新的短劇(skit)。透過此活動，學生將有能力因應各種狀況以及場景來使用確切的日語。
4. 實際演出自行製作的短劇。此時運用舞台方法（Staging Method）指導發聲方法、聲音大小以及高低與伴隨會話的演技。
5. 有時唱日文歌以及運用卡片進行遊戲來享受會話。
6. 為增加大學外、家庭外相關事宜之語彙量以及聽力，課程內會一同聽「新聞報導學日語」及「最新日語新聞報導」，並會用日語討論其新聞報導內容。
7. 為提高學生的好學心，會在課堂上觀賞日語電視節目或有日語字幕之 DVD。若在課堂內無充足時間觀賞時，擬定另開「日語附字幕 DVD 鑑賞會」來觀賞。
8. 偶爾會邀請日本留學生、一般日本人及其他大學的日語教師至課堂，提供學生能實際用日文對話的機會。

### IV. 教材及副教材

1. 主要教材（教科書） 社團法人 國際日本語普及協會著「忙碌人士的日本語」（Japanese for Busy People III）講談社版（Kodansha International）・附 C D
2. 副教材 （1）用卡片學中級會話（日語檢定試驗 2 級程度文法）、（2）新聞報導學日語・附 CD、（3）最新日語新聞報導、（4）商業日語語彙練習教材、（5）「大家的日本語（Japanese for Everyone）學研出版、（6）複習時使用「看漫畫學日語」附 C D、A1c 社出版、（7）日本電視節目錄影帶、日本最新雜誌報導及觀光導覽的彩色簡介、海報等
3. 本課程學生觀賞的 DVD 有以下幾樣。
  - A. 有日文字幕的 DVD：「淚光閃閃」「在世界中心呼喊愛情」「岸上的波妞」「櫻花大戰」「網球王子」「HERO」「陰陽師 I」「陰陽師 II」「森鷗外作『舞姫』」「夏目漱石作『夢十夜』」「谷崎潤一郎作『細雪』」「川端康成作『雪國』」「黑澤明監督『羅生門』」、其他共計 40 部。
  - B. 沒有日文字幕的 DVD：「日本的童話」「神隱少女」「日本的社會」「最後的武士」「來至硫磺島的信」「三島由紀夫作『春之雪』」「黑澤明監督『七武士』」其他共計 20 部。
  - C. 學生能觀賞的 DVD 有共計 60 部，除在課堂時間內欣賞外，會特別另開「日語 DVD 鑑賞會」。
    4. 除透過課堂或在家自行聽 CD 進行會話練習之外，藉由欣賞 DVD、邀請日本留學生為特別來賓交流溝通等活動進而提升學生的學習欲望。
    5. 關於課程概要（syllabus）

課程概要 (syllabus) 由 (1) 文法課程概要、(2) 機能課程概要、(3) 場景課程概要、(4) 話題課程概要、(5) 技能課程概要之複合課程概要組成。在此將簡單敘述這些課程概要的特徵。

- (1) 文法課程概要：確實吸收並將文法深植於腦中，學習中級、高級日語所不可或缺的文法能力。
- (2) 機能課程概要：深入理解各個文法的意思與目的，並重視培育日常生活中所需之日語會話能力的課程。
- (3) 場景課程概要：能夠一次學習某特定場景所需之語彙或表現方法及文法的課程。
- (4) 話題課程概要：能夠一次學習學生高度關心的特定話題所需之語彙或表現方法及文法的課程。藉由採用學習者感興趣的話題，能讓學習者充滿學習動機，並易於學習日本文化的課程。
- (5) 技能課程概要：此課程特別注重口說能力與聽力。

#### V・成績・評估的計算方式

1. 成績以中中考佔 25%、期末考 25%、課堂內之短劇製作能力・短劇演技・表現能力 20%、個人發表 20%、出席率以及學習態度 10% 之評量方式計算，中中考、期末考則採用避免造成學生心理壓力之方式進行。
2. 中中考・期末考的成績配分以口試 50%、筆試 25%、聽力 25% 的比例計算。
3. 學期最終成績則視缺席情形、學習態度而加以扣分，期中期末考的結果並非為唯一評量標準。

#### VI・複合課程概要之課程設計與進度表

課堂的課程概要以複合課程概要設計並組成。

複合課程概要之課程設計與進度表

月與週	學習・活動內容	學生學習目標
第一學期 9月 第一週 至 第二週	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 發本課程進度表及附 CD 教科書</li> <li>2 說明教科書及 CD 的使用、應用方法</li> <li>3 發「漫畫學日語」後半段三分之一的部分及 CD 並且練習</li> <li>4 各個場景的會話練習</li> <li>5 製作並演出短劇</li> <li>6 邀請日本留學生或華僑學生並實際用日文對話</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 掌握一學年年的學習目標</li> <li>• 日語會話(一)的複習</li> <li>• 增強會話能力及聽力</li> <li>• 自我介紹、提問、委託、邀請等初級程度的應用能力</li> <li>• 兩人一組</li> <li>• 團體活動:增強運用新學文法及語彙的能力</li> <li>• 增強實際應用能力並提高對於會話的關心</li> </ul>
10月 第一週至 第二週	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 第一課「～がある・～がする」「～ようだ」「～そうだ(聽說)」「～だろう」等會話練習 場景：旅行準備</li> <li>2 第2課「～のに」「～筈だ」「～らしい」之會話練習 場景：在旅遊導覽書上找某家餐廳</li> <li>3 短劇製作與演戲(中中考・口試)</li> <li>4 使用卡片的會話遊戲</li> <li>5 第3課：「～ようになる」「～なっていく」等會話練習</li> <li>6 複習第1課、第2課、第3課。 透過(a)會話(b)讀解資料、(c)聽力資料進行複習</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 熟悉並習慣這些文法用法</li> <li>• 兩人一組</li> <li>• 磨練飯店預約以及取消的日語會話能力</li> <li>• 熟悉並習慣這些文法用法</li> <li>• 新語彙的練習</li> <li>• 團體活動:增強運用新學文法及語彙的能力</li> <li>• 加快日語反射性回答的速度</li> <li>• 兩人一組</li> <li>• 增強會話、閱讀、聽力能力</li> </ul>
第三週 至 第四週		

	7 觀賞DVD 8 期中考・筆試	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 增強會話及聽力能力</li> </ul>
11月 第一週 至 第二週	1 第4課：「～ないで」「～ように～する」「～してある」等文法的會話練習 2 對於「如何研讀日文」「如何消解壓力」等話題提出自己的想法 3 運用地圖回答「從～如何去～」等問題 4 使用卡片的會話遊戲	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 兩人一組</li> <li>• 增強運用新文法、語彙的能力</li> <li>• 培養對於話題發表個人意見的能力</li> <li>• 加強個人發表的能力</li> <li>• 培養描繪地圖並用此說明的能力</li> <li>• 加快日語反射性回答的速度</li> <li>• 兩人一組</li> </ul>
第三週 至 第四週	5 第5課：「～前まで～てた」「～ながら」「～ために」「～く／にする」等會話練習 6 製作並演出表現「某科目考試的前一天、當天、隔天」之情境的短劇 7 觀賞DVD	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 團體活動:增強運用新學語彙的能力</li> <li>• 會話、閱讀、聽力增強</li> </ul>
12月 第一週 至 第二週	1 第6課 包含「～ても」「～たり、～たりする」「～ても・～なら」「～ことにする」之會話練習 2 「～ている」「～てみる」「～てくる」「～てきた」「～て至」「～てしまう」「～ておく」「～てある」等文法總複習 3 「念讀解資料並用同資料做聽力測驗」並回答問題 4 從副教材中選取的包含以上複合辭之會話 5 使用卡片的會話遊戲	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 兩人一組</li> <li>• 增強運用能力以及聽力</li> <li>• 閱讀能力、聽力加強</li> <li>• 加強個人發表的能力</li> <li>• 培養運用能力</li> <li>• 加快日語反射性回答的速度</li> <li>• 兩人一組</li> </ul>
第三週 至 第四週	6 第7課：「～してもらおう」「～つもり」「～てくれる」理解以上文法差異並進行會話練習 7 以上文法之重複會話練習 8 製作並演出這些文法的短劇 9 觀賞DVD	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 兩人一組</li> <li>• 團體活動:增強運用新學文法及語彙的能力</li> <li>• 會話、閱讀、聽力增強</li> </ul>
1月 第一週	1 期末考：筆試 2 期末考口試的練習 3 期末考：口試	
<b>第二學期</b> 2月 第一週 至 第二週	1 第8課：「れる・られる」「～ている間」「～ようとした時」等會話練習 2 運用被動句文法來製作、演出各場景的短劇 3 發表「曾經發生過的無聊事情」之經驗 4 發「新聞報導學日語」之資料與CD 5 一同閱讀最新日語新聞報導並令學生回答問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 兩人一組</li> <li>• 增強容易犯錯的文法能力</li> <li>• 團體活動:增強運用新學文法及語彙的能力</li> <li>• 加強個人發表的能力</li> <li>• 自行強化聽力能力</li> </ul>
第三週 至 第四週	6 第9課：「もし、～がいたら、」「～てほしい」「～させて下さい」等文法之會話練習 運用假設語氣文法製作並演出各情景之短劇 7 對於「誰令你做何種事情」之問句發表個人意見 8 圖表讀法的練習 9 依照各種場景練習「～てもらおう／～てくれる」等文法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 兩人一組</li> <li>• 團體活動:增強運用新學語彙的能力</li> <li>• 加強個人發表的能力</li> <li>• 各種圖表的解讀法以及運用圖表回答問題的能力</li> <li>• 複習容易犯錯的文法</li> </ul>

	<p>1 0 運用第9課所學文法製作並演出短劇</p> <p>1 1 觀賞DVD</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>團體活動:增強運用新學語彙的能力</li> </ul>
<p>3月</p> <p>第一週至第二週</p> <p>第三週至第四週</p>	<p>1 職場上的會話:「～ていただく」「～てくださる」「～させていただく」等敬語・謙讓語・禮貌表現之會話練習</p> <p>2 包含這些文法之各場景的會話練習</p> <p>3 製作並演出包含這些文法之短劇</p> <p>4 繼續自行聽「新聞報導學日語」之CD</p> <p>5 發「商用日語」之資料及練習應用新學語彙造句</p> <p>6 第11課:「留言—委託以及受託應對方法」「～からです(理由・原因)」等文法之會話練習</p> <p>7 日本節慶活動介紹「節分・雛祭(女兒節)」及用折紙折雛人形等活動</p> <p>8 與日本留學生用日語對話</p> <p>9 觀看日本節慶活動介紹之DVD</p> <p>10 第8課至第11課之總複習</p> <p>11 期中考</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>兩人一組:敬語・謙讓語及有禮貌表現的學習</li> <li>兩人一組:增強實際運用敬語表現的能力</li> <li>團體活動:增強運用新學文法及語彙的能力</li> <li>自行加強聽力</li> <li>增強商業用語、例句的實際应用能力</li> <li>增強委託及受託留言的應對表現方法「～だ」</li> <li>課堂內實際進行的活動:節分之瀧豆、品嚐雛祭之食物及製作紙娃娃等</li> <li>日語應用能力的增強</li> <li>親近日本文化</li> </ul>
<p>4月</p> <p>第一週至第二週</p> <p>第三週至第四週</p>	<p>1 第12課:「電話會話」練習</p> <p>2 從副教材選取不同場景的電話會話資料並練習</p> <p>3 電話會話等職場上各種情境之短劇演出</p> <p>4 「圓形圖表」之解讀方法及回答提問的方法</p> <p>6 第10課至第12課之總複習</p> <p>7 第13課:「～ばかり」「～ところだ」「～わけ」等文法之會話練習</p> <p>8 包含這些文法之副教材及別的場景的會話練習</p> <p>9 關於最新日語雜誌報導或觀光手冊之提問與回答之演戲</p> <p>10 觀賞DVD</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>兩人一組</li> <li>團體活動:增強運用新學文法及語彙的能力</li> <li>增強個人發表能力、運用能力</li> <li>增強文法能力</li> <li>兩人一組</li> <li>團體活動:增強運用新學文法及語彙的能力</li> <li>親近日本文化</li> </ul>
<p>5月</p> <p>第一週至第二週</p> <p>第三週至第四週</p>	<p>1 使用卡片的會話練習</p> <p>2 第14課:練習演講</p> <p>3 個人演講</p> <p>4 關於最新日語新聞報導之提問與回答之演戲</p> <p>5 繼續自行聽「新聞報導學日語」的CD</p> <p>6 第15課:依主題別之會話練習</p> <p>7 第13課至第15課之總複習</p> <p>8 運用第13課至第15課所學新文法及語彙,並依場景別製作並演出短劇</p> <p>9 製作並演戲包含電視台內及棚外現場直播新聞報導</p> <p>11 參訪校外企業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加快日語反射性回答的速度</li> <li>增強個人發表能力、運用能力</li> <li>兩人一組</li> <li>自行增強聽力</li> <li>兩人一組</li> <li>增強文法能力及發表能力</li> <li>團體活動:增強運用新學文法及語彙的能力</li> <li>應用並活用「新聞報導學日語」所學內容之能力</li> </ul>
<p>6月</p> <p>第一週至</p>	<p>1 公司求職活動之面試場景演戲</p> <p>2 物品廣告的製作・演戲</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>團體活動</li> <li>確認在職場上的日語實際運用能力</li> </ul>

第二週	3 各種場景的短劇製作・演戯 4 個人學期報告発表 5 期末考：筆試 6 期末考：口試	・確認個人発表能力及運用能力
-----	--	----------------

## 指導要綱

指導教授：謝豊地正枝

課程名称：日語会話(二)上・下、日文系必須

### I. 課程の対象：

日語会話(二)の課程は、日語会話(一)を修了した学生を対象にしてカリキュラムがデザインされている。

### II. 課程目標

1. 学生はこの課程を修了した段階で、日本語の基礎的な中級レベルの文型を習得してそれらを正しく用いて、話題或いは場面に応じて自分の意思や感情や思考を聞き手に口語で自信を持って伝達することができる。

2. 場面は大学内や家庭内の場面に限らず、広く社会的・商業的な場面を含む。

3. 学生はこの課程を修了した段階で、日本語の基礎的な中級レベルの文型を用いて口語で伝えられた日本語の内容を聞いて、正しく理解することができる。

4. 学生の話す力を向上させるために、クラス内容は学生中心に構成されている。おり、教科書及びその内容を録音したCDに加えて、副教材の一つに「ニュースで学ぶ日本語」のCDを用いて聴力を向上させる。

### III. 教学方法

5. コミュニカティブ・アプローチ (Communicative Approach) 及び直説法 (Direct Teaching Method) に基づいて、学生中心の活動に重心を置いて、学生がクラス時間の二分の一以上の時間を話す練習をするために使うように構成されている。

6. 正しい発音を習得するために、教科書の内容を録音したCDを全ての学生に配布する。学生は毎日帰宅した後も、CDを用いて自分で勉強することができる。クラスでは教師が日本語で書かれた内容を正しく読み、学生はそれを聞いて復唱する。次に、個人的に一人でCDと共に練習する。

7. 次に、学生は二人一組になって教科書の内容を練習する。規定の会話の内容を習得した後で、教科書の会話を基にしてその会話の場面に似た場面を想定し、新しいスキット (skit=寸劇) を3人から5人までのグループで作成する。これは学生が状況や場面に応じて日本語の使い方を練習して運用能力を身につけるために重要な活動である。

8. 自分たちで作成したスキットを実際に演じる。この場合には、ステージング・メソッド (Staging Method) を用いて発声の仕方、声の大小や肯定、それらの会話に伴う演技を指導する。

5. 時には日本の歌を歌ったり、カードを用いて会話を楽しむゲームをしたりする。

6. 大学外・家庭外の事柄に関する語彙を増加させるため、及び、聴力を向上させるために、「ニュースで学ぶ日本語」や「最新の日本語新聞の記事」を学生と一緒に聞いたり、それらのニュースに関して日本語で話し合ったりする。

9. 学生の関心を高めるために、TV の日本語の番組を収録したものや、日本語の字幕の付いた DVD をクラスで鑑賞する。クラスで見る時間がない場合には、特別に「日本語字幕付き DVD 鑑賞会」を別に開いて鑑賞するように考慮している。

8・時々、日本人の留学生や一般の日本人や他の大学の日本語教師をクラスに招いて、学生が実際に日本語を用いて話す機会を与える。

### IV. 教材及び副教材

1. 主教材(教科書) 社団法人 国際日本語普及協会著「忙しい人々のための日本語 (Japanese for Busy People III) 講談社版 (Kodansha International) ・CD付

2. 副教材 (1) カードで学ぶ中級会話(日本語検定試験2級レベルの文法)、

(2) ニュースで学ぶ日本語・CD付、(3) 最新の日本語新聞の記事、(4) ビジネス日本語の語彙練習教材、(5) 「皆のための日本語 (Japanese for Everyone) 学研出版、(6) 復習のために用いる「まんがで学ぶ日本語」CD付、アルク社出版、(7) 日本の TV 番組からの収録画、日本の最新の雑誌の記事や観光案内の彩色パンフレット、ポスターなど

4. この課程のために学生が鑑賞できる DVD には、次のものがある。

A. 日本語の字幕が付いた DVD: 「涙そうそう」「世界の中心で愛を叫ぶ」「崖の上のポニョ」「サクラ大戦」「テニス王子」「ヒーロー」「陰陽師 I」「陰陽師 II」「森鷗外作『舞姫』」「夏目漱石作『夢十夜』」「谷崎潤一郎作『細雪』」「川端康成作『雪国』」「黒澤明監督『羅生門』」、その他、合計40本

B. 日本語の字幕が付いていない DVD: 「日本の童話」「千と千尋の物語」「日本の社会」「最後の武士」「硫黄島からの手紙」「三島由紀夫作『春の雪』」「黒澤明監督『七人の侍』」その他、合計20本

C. 学生が使用できるDVDは合計60本あって、クラス内の時間で鑑賞する外に、特別に「日本語DVD鑑賞会」を特別に別の日に開く。

5. クラスや家庭で CD と共に会話を練習することに加えて、これらの DVD を鑑賞すること、日本人留学生などを特別ゲストとしてクラスに招いて日本語によって交流することを通して、学生の学習意欲を高める。

#### 6. クラスのシラバス(syllabus)について

クラスのシラバス(syllabus)は、(1)文型シラバス、(2)機能シラバス、(3)場面シラバス、(4)話題シラバス、(5)技能シラバス、などを組み合わせた複合シラバスによってデザインする。これらのシラバスの特徴を簡単に以下に説明する。

(1)文型シラバス: 文型を確実に固定化させるための内容で、中級・上級の日本語の能力を得るために欠かせない文法能力を学ばせる内容のシラバス。

(2)機能シラバス: 個々の文がどのような意味や目的で使われるのかを理解しながら、日常生活に必要な日本語の会話力を養うための内容を重視したシラバス。

(3)場面シラバス: ある特定の場面で必要とされる語彙や文型や表現をまとめて学習することができる内容のシラバス。

(4)話題シラバス: 学生の関心が高いある特定の話題の下で、必要とされる語彙や文型や表現を同時に学習することができる。学習者の興味のある話題を取り上げることによって動機づけになる上、日本の文化的な学習を取り入れやすい内容のシラバス。

(5)技能シラバス: このクラスでは、特に、「話す能力」と「聴く能力」を養う内容のシラバス。

#### V. 成績・評価の計算方法

3. 評価は中間試験25%、期末試験25%、クラス内での寸劇作成能力・寸劇演技・表現力20%、個々の個人発表20%、出席率及び学習態度10%の割合で、中間・期末の試験が学生に対して精神的な圧力になるのを防ぐ。

4. 中間試験・期末試験の評価対象の評価配分は、口試60%、筆試25%、聴力25%の割合で計算する。

5. 学期の最終成績は、欠席が多かったり、学習態度が熱心でなかったりする学生に対しては減点するので、試験の結果のみによっては計算されない。

#### VI. 複合シラバスによるクラス・デザインと進捗表

クラスの教科シラバスは、複合シラバスによってデザインされる。

#### 複合シラバスによるクラス・デザインと進捗表

月と週	学習・活動内容	学生が学ぶ事柄の目標
<b>第一学期</b>		
9月 第一週 から	1 この課程の進捗表及び CD 付き教科書の配布	・一年間の学習目標の把握
第二週	2 教科書の使い方、CD の使い方の説明	・日語会話(一)の復習 ・会話力・聴力強化
	3「まんがで学ぶ日本語」の後半三分の一の部分・CD の配布・練習	・自己紹介・質問・依頼・勧誘等の場面における初級レベルの運用能力
	4 場面別の会話練習	・ペア活動
	5 独自のスキットの作成と演技	・グループ活動: 新文型・語彙を用いた運用能力の増加
	6 日本人の留学生か華僑の学生を招く 実際に日本語で会話をする	・実際の運用能力の強化と 会話に関心を持たせる
10月 第一週 から	1 第一課「～がある・～がする」「～ようだ」「～そうだ(聴説)」「～だろう」を含んだ会話練習	これらの用法の把握と運用能力の固定化 ・ペア活動
第二週	場面: 旅行の準備	・ホテルの予約・キャンセルする能力を養う
	2 第二課「～のに」「～筈だ」	・これらの用法の把握と運用

	「～らしい」を含んだ会話練習 場面:ガイド・ブックであるレスト ランを見つける	能力の固定化 ・新しい語彙の練習 ・グループ活動:新文型・語 彙を用いた運用能力の向上
	3 独自のスキットの作成と演技 (中間試験・口試)	
	4 カードを使った会話ゲーム	・反射的に回答する速度向上
第三週 から	5 第3課:「～ようになる」「～なっ ていく」などを含んだ会話練習	・ペア活動
第四週	6 第1課、第2課、第3課の復習を(a)会話 (b)読解資料、(c)聴力資料、を通して復習	・会話力・読解力・聴力強化
	7 DVD鑑賞	・会話力・聴力強化
	8 中間試験・筆試	

11月		
第一週 から	1 第4課:「～ないで」「～ように～す る」「～してある」の用法・会話練習	・ペア活動 ・新文型・語彙力の強化
第二週	2「どうやって日本語を勉強しているか」 「どのようにストレスを解消しているか」 という話題で、自分の考えを発表	・ある話題に対する意見を 発表する能力を養う ・個人発表する能力の向上
	3「～から～までどうやって行くか」という 質問の回答を地図で示しながら伝える	・地図を描いてそれを用い 説明する能力を養う
	4 カードを使った会話ゲーム	・反射的な回答の速度の向上
第三週 から	5 第5課:「～前まで～てた」「～ながら」 「～ために」「～く／にする」を含んだ 会話練習	・ペア活動
第四週	6「ある科目の試験の前の日、当日、試験 翌日」の場面を表現する独自のスキ ットの作成と演技	・グループ活動:新文型・語 彙を用いた運用能力の向上
	7 DVD鑑賞	・会話力・聴力強化

12月		
第一週 から	1 第6課「～ても」「～たり、～たり する」「～ても・～なら」「～ことに する」を含んだ会話練習	・ペア活動
第二週	2「～ている」「～てみる」「～てくる」 「～てきた」「～てから」「～てしまう」 「～ておく」「～てある」などの総復習	・運用能力及び聴力向上
	3「読解資料を読む、同じ資料を聴力テスト」 として聴いて、質問に答える	・読解力・聴力強化 ・個人発表する能力の向上
	4 以上の複合辞を用いた副教材からの会話	・応用能力を養う
	5 カードを使った会話ゲーム	・反射的な回答の速度の向上
第三週 から	6 第7課:「～してもら」「～つもり」 「～てくれる」の相違を理解して、会話 の練習をする	・ペア活動
第四週	7 それらの用法を含んだ複数の会話の練習	・ペア活動
	8 それらの用法を含んだスキットの作成・ 演技	・グループ活動:新文型・語彙 を用いた運用能力の向上
	9 DVD鑑賞	・会話力・聴力強化

1月	
第一週	1 期末試験:筆試
	2 期末試験の口試の練習
	3 期末試験:口試

## 第二学期

2月 第一週 から 第二週	1 第8課:「れる・られる」「～ている間」「～ようとした時」を含んだ会話	・ペア活動 ・間違いやすい文法力の強化
	2 受身文を含んだ文型を用いて、場面別にスキットを作成・演技	・グループ活動:新文型・語を用いた運用能力の向上
第三週 から 第四週	3「つまらなかつたこと」の経験発表	・個人発表する能力の向上
	4「ニュースで学ぶ日本語」の資料とCDの配布	・自分で聴力を強化する
	5 最新の日本語新聞記事と一緒に読んで、質問に答えさせる	
	6 第9課:「もし、～がいたら、」「～てほしい」「～させて下さい」を含んだ会話練習	・ペア活動
	仮定文を含んだ文型を用いて、場面別にスキットを作成・演技	・グループ活動:新文型・語彙を用いた運用能力の向上
	7「誰かがあなたにどのようなことをさせているか」という問いに対して、個人的に意見を発表する	・個人発表する能力の向上
	8 グラフの読み方の練習	・各種のグラフの読み方とグラフを用いて回答する能力
	9 場面別の会話による「～てもらう／～てくれる」の用法の復習	・間違いやすい文法の復習
	10 第9課で学んだ用法を用いたスキット作成と演技	・グループ活動:新文型・語彙を用いた運用能力の向上
11 DVD鑑賞		

3月 第一週 から 第二週	1 ビジネス現場での会話:「～ていただく」「～てくださる」「～させていただく」などの敬語・謙譲・丁寧な表現を含んだ会話練習	・ペア活動:敬語・謙譲語・丁寧な表現の習得
	2 これらの用法を含んだ場面別の会話練習	・ペア活動:敬語等の表現の実際的な運用能力の強化
第三週 から 第四週	3 これらの用法を含んだスキットの作成・演技	・グループ活動:新文型・語彙を用いた運用能力の向上
	4「ニュースで学ぶ日本語」のCDを自分で聴く宿題の継続	・自分で聴力を強化する
	5「ビジネス日本語」の資料の配布・新語彙を用いた文例の作成練習	・ビジネス用語・文例の実際的な運用能力の強化
	6 第11課:「伝言—依頼の仕方、受け方」「～からです(理由・原因)」の用法を含んだ会話練習	・伝言の依頼の仕方・受け方「～だ」の表現力の強化
	7 日本の行事の紹介「節分・ひな祭り」折り紙でひな人形を作るなどの活動	・クラスで実際にする活動:節分の豆まき、ひな祭りの食べ物等の賞味、紙人形作成等
	8 日本人留学生との日本語での会話	・日本語の運用能力の強化
	9 日本の行事紹介のDVD鑑賞	・日本文化に親しむ
	10 8課から11課までの総復習	
	11 中間試験	

4月 第一週 から 第二週	1 第12課:「電話での会話」練習	・ペア活動
	2 副教材から別の場面での電話の会話資料の練習	・グループ活動:新文型・語彙を用いた運用能力の向上
	3 電話での会話を含んだビジネスの現場における場面別のスキットの演技	・個人発表する能力・運用能力の強化
	4「円形グラフ」の読み方と質問に対する回答の仕方	

第三週 から 第四週	6 第10課から第12課の総復習 7 第13課:「～ばかり」「～ところだ」「～わけ」の用法を含んだ会話練習 8 これらの用法を含んだ副教材から別の場面の会話練習 9 日本の最新の雑誌記事や観光パンフレットに関するスキットの演技 10 DVD鑑賞	・文法力の強化 ・ペア活動  ・グループ活動:新文型・語彙を用いた運用能力の向上 ・日本文化に親しむ
------------------	--	--

5月 第一週 から 第二週	1 カードを用いた会話練習 2 第14課:スピーチの練習 3 個人によるスピーチの発表 4 最新の日本語新聞記事に関する質問と回答の演技 5「ニュースで学ぶ日本語」のCDを自分で聴く宿題の継続	・反射的な回答の速度の向上 ・個人発表能力・運用能力の強化 ・ペア活動  ・自分で聴力を強化する
第三週 から 第四週	6 第15課:テーマ別による会話の練習 7 第13課から第15課までの総復習 8 第13課から第15課までに学んだ新文型と語彙を用いて、場面別に応じたスキットの作成・演技 9 TV局の中及び外の現場からの中継を含んだニュース報道の作成・演技 11 大学外の企業の訪問・見学	・ペア活動 ・文法力・発表能力の強化  ・グループ活動:新文型・語彙を用いた運用能力の向上 「ニュースで学ぶ日本語」から応用する能力の向上

6月 第一週 から 第二週	1 会社における就職活動のインタビュー風景の演技 2 物品の広告の作成・演技 3 場面別のスキット作成・演技 4 個人による学期レポート発表 5 期末試験:筆試 6 期末試験:口試	・グループ活動 ・ビジネスの場における実際的な運用能力の確認 ・個人発表能力・運用能力の確認
------------------------	---	--